

今週の文字を大きく書こう

左で学ぶ文字をたしかめ、色つきの書き順を見て5回書きましょう。

作成見本

今週の文字

汽

き
汽車

書き順の手本



1 2 3 4 5

1

2

3

4

5

今週の文字

船

ふね・せん
船

書き順の手本



1

2

3

4

5

今週の文字

電

でん

電車

書き順の手本

1

2

3

4

5

6

7

8

9

5回 書こう

3

4

5

台

だい・たい

台所

今週の文字

書き順の handbook

5回 書こう

1

2

3

4

5

今週の文字

寺

てら・じ

お寺

書き順の手本



1

2

3

4

5

5回 書こう

1

2

3

4

5

読みと文字を使い分けよう

青い下線と答えのしゅるいを見て、ひらがなか漢字かを確かめましょう。

作成見本

読みの問題 → ひらがなで書く / 書きの問題 → 漢字で書く

1 読みを、ひらがなで書こう

1 汽車

ひらがな

--	--	--

2 船

ひらがな

--	--

3 電車

ひらがな

--	--	--	--

4 台所

ひらがな

--	--	--	--	--

5 お寺

ひらがな

--	--	--

2 ひらがなを、漢字に直そう

1 きしゃ

漢字

--	--

2 ふね

漢字

--	--

3 でんしゃ

漢字

--	--

4 だいどころ

漢字

--	--

5 おてら

漢字

--	--

物語を読んで考えよう

お話は、はじめから終わりまで続けて読みましょう。

作成見本

駅で聞いたリズム



駅のホームに汽車が入り、しゅっしゅつと音を立てました。遠くでは船の汽笛がぼうつと鳴りました。
電車のベルはりりん、寺の鐘はごおん。まいは、聞こえた音をノートに書きました。
同じ音をくり返して読むと、楽しいリズムの詩になりました。

1 文章について答えよう

1 汽車は、どんな音を立てましたか。

2 遠くで鳴ったものは何ですか。

3 電車のベルは、どんな音ですか。

4 寺の鐘は、どんな音ですか。

5 まいは音を何に書きましたか。

6 くり返して読むと何になりましたか。

説明文を読んで考えよう

学習のこつを、文章から見つけましょう。

作成見本

『詩を読み取る』のこつ

国語では、『詩を読み取る』を学びます。言葉から音・景色・気もちを想像しよう。

まず、問題で何を聞かれているかをたしかめます。音や動きを表す言葉を声に出すと、場面の様子やリズムを思いうかべやすくなります。

答えを書くときは、文章にある言葉を使います。書き終わったら、問題と自分の答えが合っているか、もう一度見直します。

1 文章について答えよう

1 この文章は、何について説明していますか。

2 はじめに、何をたしかめますか。

3 音を表す言葉は、何を思いうかべる手がかりですか。

4 答えを書くとき、何にある言葉を使いますか。

5 書き終わったら、何を見直しますか。

6 今日学んだことを、一文で書きましょう。

一週間のまとめ

今週の文字と、読んだり書いたりする力をまとめて確かめましょう。

作成見本

1 文字ミニテスト

読みを、ひらがなで

- 1 汽 _____
- 2 船 _____
- 3 電 _____
- 4 台 _____
- 5 寺 _____

ひらがなを、漢字で

- 1 き _____
- 2 ふね _____
- 3 でん _____
- 4 だい _____
- 5 てら _____

2 詩を読み取る

1 詩の題。『町の音』

2 最初の音。がたんごとん電車が来る

3 次の音。ぽっぽ汽車が遠くで鳴く

4 水辺の音。ぽーっ船が港を出る

3 文をつくろう

『汽・船・電・台・寺』から一つ選び、その文字を使って文を書きましょう。

第35週 答え

記述問題は、意味が合っていれば正解にしましょう。

作成見本

火ようび | 読み・書き

読み：1 きしゃ 2 ふね 3 でんしゃ 4 だいどころ 5 おてら

書き：1 汽 2 船 3 電 4 台 5 寺

水ようび | 物語

1 しゅっしゅっ

3 りんりん

5 ノート

2 船の汽笛

4 ごおん

6 楽しいリズムの詩

木ようび | 説明文

1 詩を 読み取る

3 場面の様子

5 問題と自分の答えが合っているか

2 問題で何を聞かれているか

4 文章

6 例：大切なところに線を引いて読みます。

金ようび | まとめ

ミニテスト：1 きしゃ／汽 2 ふね／船 3 でんしゃ／電 4 だいどころ／台 5 おてら／寺

1 きしゃ

3 でんしゃ

2 ふね

4 だい

文：例 今週の文字を一つ使った、意味の通る文。

第36週へ

